

## 自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析表	データ表		<b>データグラフ</b>	
	内容	項目数		平均
	「乳児保育」	15		4.80
	「3歳未満児保育」	32		4.66
	「3歳以上児保育」	53		4.47
	「教育保育の配慮事項」	16		4.13
	「健康・安全」	29		4.34
	「子育ての支援」	18		4.22
	「職員の資質向上」	9		4.67
	計	172		4.47
総合 評価	<p>前年度は視察や内、外部評価で他施設の方にみていただく機会から参加者に自園を評価していただき、職員で保育の質の向上を図ることができた。又、自己評価を行う中で教育、保育の配慮事項に対する事柄に弱みを認識し、再度、教育の土台となる養護面、基本的欲求の充実を図り、心情、意欲、態度が積み重ねられるような保育を展開していかなければならないと感じた。</p> <p>今後はさらに、保育教諭それぞれが自分の力を出し、互いに刺激し合える職場の環境作りを基盤とした教育・保育の提供を目指し、これまで以上にチームでの教育・保育を実施していきたいと思う。</p>			

## 事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
災害対策	非常災害に対する個別の計画を整備し、それに基づく実効性ある訓練の実施 ・個別計画を見直す中で危機管理を高める
保護者等のニーズの把握・理解	護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進 ・アンケートを行事ごとに実施し、登降園児に個別に声をかけ保護者の声を聞くなど、日々のコミュニケーションを大切にしてい
地域への見える化・見せる化	地域に対して法人・施設情報の提供やサービス内容の説明、開かれた（情報開示・提供・公表）仕組みづくりの推進等、地域とのコミュニケーションの強化 ・おもいやりポイント制度のボランティアの方との関係を継続し、実施時に旗を立て地域にアピールする

